

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	湘中央生命科学技術専門学校
設置者名	学校法人湘中央学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	応用生物科学科 バイオコース	夜・通信	185h	80×2=160h	
医療専門課程	応用生物科学科 動物看護コース	夜・通信	295h	80×2=160h	
医療専門課程	救急救命学科	夜・通信	1,305h	80×3=240h	
医療専門課程	応用生物科学科	夜・通信	160h	80×2=160h	
文化教養課程	愛玩動物看護学科	夜・通信	330h	80×3=240h	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

WEB 応用生物科学科バイオコースシラバス (https://sho-oh.ac.jp/course/bio/syllabus.html) WEB 応用生物科学科動物看護コースシラバス (https://sho-oh.ac.jp/course/animal/syllabus.html) WEB 救急救命学科シラバス (https://sho-oh.ac.jp/course/kyukyu/syllabus.html) WEB 応用生物科学科シラバス (https://sho-oh.ac.jp/course/bio/syllabus.html) WEB 愛玩動物看護学科シラバス (https://sho-oh.ac.jp/course/animal/syllabus.html)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	湘中央生命科学技術専門学校
設置者名	学校法人湘中央学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページでの公表 (https://sho-oh.ac.jp/about/disclosure.html)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士法人 ENISHI 西東京 弁護士	2021年5月29日 ～ 2025年5月30日	コンプライアンス
非常勤	熊澤会計事務所 税理士	2021年5月29日 ～ 2025年5月30日	財務
非常勤	医療法人誠徹会 医師	2021年5月29日 ～ 2025年5月30日	医療関連
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	湘中央生命科学技術専門学校
設置者名	学校法人湘中央学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 湘中央生命科学技術専門学校応用生物科学科バイオコース、応用生物科学科動物看護コース、救急救命学科、応用生物科学科、愛玩動物看護学科授業計画として毎年作成し、WEB シラバスを毎年5月にホームページに掲載。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応用生物科学科バイオコース https://sho-oh.ac.jp/course/bio/syllabus.html ・ 応用生物科学科動物看護コース https://sho-oh.ac.jp/course/animal/syllabus.html ・ 救急救命学科 https://sho-oh.ac.jp/course/kyukyu/syllabus.html ・ 応用生物科学科 https://sho-oh.ac.jp/course/bio/syllabus.html ・ 愛玩動物看護学科 https://sho-oh.ac.jp/course/animal/syllabus.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>■成績評価の基準・方法 成績評価は、80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。</p> <p>■卒業・進級条件 1年生及び2年生終了時に所定の全科目が合格であった者、卒業時に所定の全科目が合格であった者 ※シラバスに履修認定方法提示</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>■成績評価の基準・方法 成績評価は、80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。 ※100点法による科目別成績の分布状況を把握。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://sho-oh.ac.jp/about/disclosure.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

■卒業条件

履修科目ごとに定める授業時数の3分の2以上出席し、卒業時に教育課程で定められた所定の全科目に合格した学生の卒業を認める。

また、医療専門課程の学科において卒業を認めた学生に対し卒業証書及び専門士（医療専門課程）の称号を授与する。詳細については学則、学則細則に記載している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://sho-oh.ac.jp/about/disclosure.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	湘中央生命科学技術専門学校
設置者名	学校法人湘中央学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://sho-oh.ac.jp/about/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①-1 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	応用生物科学科 (バイオコース)	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,870 単位時間	1230 単位時間	25 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,155 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人 (学科80人)		9人	0人	5人	23人	28人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 湘中央生命科学技術専門学校応用生物科学科バイオコース授業計画として毎年作成し、WEB シラバスを毎年5月にホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 1年生及び2年生終了時に所定の全科目が合格であった者、卒業時に所定の全科目が合格であった者。
学修支援等

(概要) 個人面談の定期的な実施 特別補講授業の実施 教育カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	2人 (20%)	8人 (80%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 企業の研究機関等			
(就職指導内容) 入試キャリア支援室を常設していて、就職セミナー、就職ガイダンス、進路相談及び進路指導等を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 中級バイオ技術者認定試験、毒物劇物取扱者試験、危険物取扱者試験、 実験動物2級技術者試験			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	1人	5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、疾病等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談の定期的実施、学納金についての相談窓口開設、補講授業実施、カウンセリング実施等		

①－2 学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	応用生物科学科 (動物看護コース)	○	－			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,310 時間	1,415 単位時間	100 単位時間	1,080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,595 単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人 (学科80人)	25人	0人	5人	21人	26人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 湘中央生命科学技術専門学校応用生物科学科動物看護コース授業計画として毎年作成し、WEB シラバスを毎年 5 月にホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可で表し、60 点未満は不可とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 年生及び 2 年生終了時に所定の全科目が合格であった者、卒業時に所定の全科目が合格であった者。
学修支援等
（概要） 個人面談の定期的な実施 特別補講授業の実施 教育カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	23人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 動物病院、ペットショップ、企業の研究機関等			
（就職指導内容） 入試キャリア支援室を常設していて、就職セミナー、就職ガイダンス、進路相談及び進路指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物看護師（国家試験）、愛玩動物飼養管理士 2 級試験、毒物劇物取扱者試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	1人	4.2%
（中途退学の主な理由） 進路変更、家庭の事情、疾病等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談の定期的実施、学納金についての相談窓口開設、補講授業実施、カウンセリング実施等		

①－ 3 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	救急救命学科	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,180 単位時間	1,575 単位時間	0 単位時間	1,575 単位時間	0 単位時間	30 単位時間
			3,180 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		121人	0人	4人	90人	93人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 湘中央生命科学技術専門学校救急救命学科授業計画として毎年作成し、WEB シラバスを毎年5月にホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 1年生及び2年生終了時に所定の全科目が合格であった者、卒業時に所定の全科目が合格であった者。
学修支援等
（概要） 個人面談の定期的な実施 特別補講授業の実施 教育カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	0人 (0%)	37人 (97.4%)	1人 (2.6%)
（主な就職、業界等） 消防機関、医療機関、消防以外の公務員等			
（就職指導内容） 入試キャリア支援室を常設していて、就職セミナー、就職ガイダンス、進路相談及び進路指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 救急救命士（国家資格）			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
116人	4人	3.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、疾病等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談の定期的実施、学納金についての相談窓口開設、補講授業実施、カウンセリング実施等		

①-4 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	応用生物科学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,870 単位時間	1230 単位時間	25 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,155 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	11人	0人	5人	23人	28人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 湘中央生命科学技術専門学校応用生物科学科授業計画として毎年作成し、WEB シラバスを毎年5月にホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は、80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 1年生及び2年生終了時に所定の全科目が合格であった者、卒業時に所定の全科目が合格であった者。
学修支援等
(概要) 個人面談の定期的な実施 特別補講授業の実施 教育カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

--

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) 従来の応用生物科学科バイオコースが令和5年度に応用生物科学科へ移行したため、在籍が1年生のみ。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、疾病等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談の定期的実施、学納金についての相談窓口開設、補講授業実施、カウンセリング実施等		

①-5 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養課程	愛玩動物看護学科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,040 単位時間	2,370 単位時間	100 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3,370 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		33人	0人	5人	21人	26人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 湘中央生命科学専門学校愛玩動物看護学科授業計画として毎年作成し、WEB シラバスを毎年5月にホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は、80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可で表し、60点未満は不可とする。
卒業・進級の認定基準

(概要)
1年生及び2年生終了時に所定の全科目が合格であった者、卒業時に所定の全科目が合格であった者。

学修支援等

(概要)
個人面談の定期的な実施
特別補講授業の実施
教育カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(主な就職、業界等)

(就職指導内容)

(主な学修成果(資格・検定等))

(備考) (任意記載事項)
従来の応用生物科学科動物看護コースが令和5年度から愛玩動物看護学科に移行したため、在籍が1年生のみ。

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%

(中途退学の主な理由)

(中退防止・中退者支援のための取組)

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
応用生物科学科	150,000 円	600,000 円	460,000 円	60,000 円 (諸会費)
救急救命学科	150,000 円	780,000 円	480,000 円	60,000 円 (諸会費)
愛玩動物看護学科	150,000 円	640,000 円	500,000 円	60,000 円 (諸会費)
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL: https://sho-oh.ac.jp/about/disclosure.html 学園報 (刊行物)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・主な評価項目は学校自己評価に基づく内容 (学校運営、教育活動、教育環境、学修成果、学生支援、財務、法令等の遵守等) とする。 ・評価委員会は、企業、保護者、卒業生から学校が選出し定数は6名とする。なお、当該学校職員は委員になれない。 ・年度末に学校関係者評価委員会を開催する。 ・実践的な職業教育を目的とした教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さについて評価・公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。 ・生徒、保護者、高等学校等、関係団体に適切な説明責任を果たすとともに、学校関係者に教育活動その他学校運営について理解を得る。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
平塚共済労災病院	2023年6月1日～ 2024年5月31日	医療機関
株式会社ベネクス	2023年6月1日～ 2024年5月31日	企業
平塚市消防本部	2023年6月1日～ 2024年5月31日	企業
同窓会	2023年6月1日～ 2024年5月31日	卒業生
父母の会	2023年6月1日～ 2024年5月31日	父母
父母の会	2023年6月1日～ 2024年5月31日	父母
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL: https://sho-oh.ac.jp/about/disclosure.htm		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

URL : <https://sho-oh.ac.jp/>

学園報（2022/7/1、2023/1/31）

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H114321800026
学校名	湘中央生命科学技術専門学校
設置者名	学校法人 湘中央学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		17人	16人	17人
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				17人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間		前半期		後半期	

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。